

# 西牧総領事のブルサ県知事への表敬(報告)

【日時】2018年11月16日(金)

【場所】ブルサ県庁

- 11月16日、西牧総領事は、ブルサ県を訪問し、ジャンボラット知事を着任のための表敬訪問しました。
- 西牧総領事は、トルコ共和国が誕生して間もない1929年、大谷光端氏がメフメット・ギョクチェン氏との連携により絹織物工場の共同経営を行ったことを紹介しつつ、日本とブルサの歴史的な友好関係について紹介しました。
- さらに、近年においても、日本トルコ間の人的交流が活発であること及び日系企業によるブルサへの投資が進んでいることに言及し、ジャンボラット知事に対して、在留邦人及び邦人観光客の皆様の安全確保への協力を要請しました。
- これに対して、ジャンボラット知事から、歓迎のお言葉とともに、かつて国際協力機構(JICA)の防災研修で日本を訪れたことが大変良い思い出になっていること、前職はコンヤ県知事であり、コンヤ県内には日本庭園があったこと、在留邦人及び邦人観光客の安全の確保のためにも尽力することなどに言及がありました。
- 西牧総領事とジャンボラット知事は、様々な機会を捉えて両国の関係強化に努めることで意見が一致しました。

